

# 高等学校・第1学年・芸術（工芸）生活を心豊かにする日用品の制作①

工芸作品を鑑賞する

心豊かな発想をする

制作の構想を練る

創造的に表す

相互に鑑賞する

振り返り、まとめ

## 題材の目標

造形の要素の働き，全体のイメージや作風などで捉えることを理解し，自己の思いなどから心豊かな発想をし，用途と美しさとの調和を考え，日本の伝統的な表現のよさなどを生かした制作の構想を練り，創造的に表し，身近な生活と工芸についての見方や感じ方を深めることができるようにするとともに，主体的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組む態度を養う。

## ICT活用のポイント

本事例では，材料や用具に直接触れながら感覚を働かせて制作する活動と，工芸作品の鑑賞の学習活動において，ICT端末を使いウェブブラウザで提供されているアンケート機能を活用し，身近な生活の工芸についての見方や感じ方を深める活動や，学習支援ソフトを使った振り返りの活動とを組み合わせで行っている。

## 事例の概要

本事例では，最初に工芸作品を鑑賞し，身近な生活体験の中で感じ取ったことや考えたことを話し合う。次に，自己の思いなどを基にして使いたいものやつくりたいものなどから発想や構想をし，陶芸の表現技法を用いて創造的に表して，身近な日々の生活を心豊かにする日用品を制作する。題材の最初の工芸作品などの鑑賞の活動では，ICT端末を使いウェブブラウザで提供されているアンケート機能を活用して，作品などから感じ取ったことや考えたことなどを，文章にして送信し，モニターに表示してそれぞれの見方や感じ方を共有するなどして見方や感じ方を深める。また，制作終了後には，学習支援ソフトなどを使って，本題材を通して学習したことの振り返りやまとめをさせている。

# 高等学校・第1学年・芸術科（工芸）生活を心豊かにする日用品の制作②

～ICT端末の機能を活用することで鑑賞を深めることや、振り返りを行う～

## I.【アンケート機能を使って鑑賞を深める】



## 【ICT活用のメリットを生み出すための工夫】

- I. 鑑賞の学習活動において、ICT端末によるアンケート機能を活用してそれぞれの生徒の感じたことや考えたことなどの個々の発言や、発言内容の集計の結果が共有できるよう大型モニターに表示する。
- II. ICT端末のカメラ機能を活用し、制作した完成作品を撮影して、作品について、制作の意図や創意工夫した点などについて文書作成ソフトを使ってまとめさせる。また、学習支援ソフトを活用し、学習活動の振り返りをクラウドにアップロードすることで、学習の成果などを共有できるようにする。

## II.【学習支援ソフトを活用したまとめや振り返り】



## 【ICT活用のメリット】

- 鑑賞の活動においては、これまで言語活動を活用した学習活動は、時間的な制約の中で全ての生徒に発言させることが困難な事が多かったが、ICT端末によるアンケート機能を活用することで、全ての生徒のリアルタイムの発言を、ある程度授業の中で取り入れることができる。
- 大型モニターに、それぞれの生徒が感じ取ったことや考えたことが映し出されるため、発言の内容を生徒同士で共有できる。
- 制作のまとめには、制作した作品の写真を簡単に掲載することができるので、より具体的な視点に立って振り返ることができる。
- クラウドに振り返りを提出させ、集約することで、教師と生徒や、生徒同士の振り返りの共有が行いやすい。

## 【活用したソフトや機能】

ウェブブラウザ、カメラ機能、アンケート機能、ファイル共有、学習支援ソフト